



えどがわボランティアセンターだより

出会い

ふれ合い

助け合い

令和3年12月発行
第51号

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



【発行】

公益財団法人えどがわボランティアセンター

〒132-0031 江戸川区松島1-38-1

電話:03-5662-7671 FAX:03-3653-0740

江戸川区は、誰もが安心して自分らしく暮らせる共生社会の実現に向けてSDGsに積極的に取り組んでいます。

ここでも
ボランティア

江戸川消防少年団

台風被害への備えとして「アシスト瓦」をセンターに提供!



江戸川消防少年団は、江戸川消防署区域の小学生から高校生までで構成され、月1回活動をしています。今年の夏はコロナ禍でもあり、アシスト瓦を作製しました。これは、区内外の風水害被害に備えると同時に、江戸川区や少年団が進めるSDGsの目標の「11.住み続けられるまちづくりを」にも一致します。また、瓦には風水害で被災した人たちを励ましたいとの思いを込めて、メッセージやイラストが描かれました。

アシスト瓦は被災地域での応急措置として自衛隊や専門ボランティアの方々が利用します。今回は、江戸川区で災害ボランティアセンターを担当する当センターに、約200枚が提供されました。

10月23日(土)にグリーンパレスで瓦の引き渡し式が行われました。センターでは早速、グリーンパレス内の事務所の入り口に展示して区内外で希望する方々にお分けし、役立てることにしました。

【アシスト瓦とは】



完成したアシスト瓦の一部

被災した瓦の復旧は、ブルーシートを張ることが一般的でした。平成30年大阪北部地震の際、30センチ四方のダンボールに防水シートを巻き、防水テープで止めるという、誰でも簡単に作れるアシスト瓦が考案されました。

一人の活動から始まり、口コミで全国に広まりました。令和元年の台風15号で房総半島が大きな被害を受けたときに、全国から4,000枚のアシスト瓦が寄せられ、復旧に貢献しました。



アシスト瓦作製の様子

200枚の瓦を前に、左から、江戸川消防署地域防災担当課長の今井さん、江戸川消防少年団長の伊藤さん、えどがわボランティアセンター山本理事、江戸川消防少年団員(中学生)の高橋さん、滝沢さん、藤井さん



山本理事から少年団へ、お礼の言葉と質問がありました。

理事「一人何枚ぐらい作ったんですか？」
少年団「一人5枚ずつ、40人で作りました。」
理事「完成した瓦に水かけてみた？」
少年団「はい。見事に水をはじきました。被災地で使ってもらえたらうれしいです。」



江戸川区内の葛西消防署、小岩消防署にも、それぞれ消防少年団があり、応急救護訓練や消火器取り扱い訓練など、様々な活動を行っています。

問合せ先

(公財)えどがわボランティアセンター

☎ 03(5662)7671

みんなできれいな街に ～きらきらCITYプロジェクトin平井～



トンクと袋を持ってごみ拾い

楽しく活動する姿を地域の皆さんにも見ていただこうと、ハロウィーンの仮装で参加された方も

10月30日(土)に、JR平井駅北口で、42人のボランティアがたばこの吸い殻・空き缶・ペットボトルなど集めるごみ清掃プロジェクトを行いました。

企画したのは、船堀駅で定期的にごみ拾いを続ける桑原さん。「ごみ拾いや清掃活動を広め、区がもっときれいで安心して生活できる街になるように」と、場所を変えながら、他の団体や個人とともに、清掃活動を行っています。

この日は、プロジェクトのメンバーや「船堀ポイ捨て掃ジャー(ポイ捨てタバコ拾いの会)」、「平井ポイ捨てタバコ拾いの会」などのメンバーに加え、ランニングしながら防犯のため街をパトロールする「パトラン江戸川支部」の有志、(社福)ひらいルミナルのメンバー、小松川平井連合町会の江頭会長も参加されました。

終了後、江頭会長から、「町会・自治会でも美化運動を行っています。これからも一緒に平井をきれいにしていきたいと思います」とあいさつがあり、桑原さんからは、「今日集めたごみが海に行かなくなってよかった」と話がありました。

「一人ひとりがポイ捨てをしないこと」が基本です。身近な街の清掃活動が、SDGsの地球環境を守ることに繋がります。

ごみ拾い・清掃活動に参加したい方は、当センターHPをご覧ください。か、当センターまでお問合せください。



活動終了後、集まったごみを前に全員で記念撮影

1時間足らずで、こんなにたくさんのごみが集まりました
燃えるごみ6袋、空き缶1袋、その他1袋(45%ごみ袋) ポイ捨てタバコ797本

バスドライバーが高齢者疑似体験

(株)東陽 バス事業部(中葛西4丁目)では、10月8日に社員のバス運転手さんたちが、疑似高齢者の乗客体験をしました。

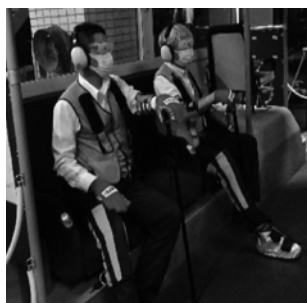
会社では、高齢者となり乗客の困りごとをリアルに感じて、安全運転やサービス向上につなげるため、実施しました。

高齢者疑似体験セットは江戸川区福祉ボランティア団体協議会が所有しており、貸し出すことができます。ご希望の場合は、当センターまでお問い合わせください。



【高齢者疑似体験セット】

- ヘッドホン型耳栓: 難聴
- 特殊メガネ: ぼやけ、視野狭窄
- 加重ベスト: 加齢による筋力低下
- 肘サポーター: 肩、肘が上げにくい
- 手袋: 物を落としやすい
- 膝サポーター: 膝が曲げにくい
- 靴型サポーター: つまづきやすい
- 杖: 不自由になった体を支える



**～手話ボランティアとともに～
祝!江戸川総合人生大学卒業**

平井在住で聴覚障がいのある田畑芳次郎さんが、この度、江戸川総合人生大学の介護・健康学科を卒業しました。

田畑さんが受講する際は、手話通訳が必要になります。大学の手話通訳者ではすべてをカバーできないため、何人もの手話ボランティアが協力しました。

聴覚障がいのある学生は大学で初めてで、この学年は途中コロナ禍もあり、通常より1年長い3年間での卒業となりました。田畑さん、手話ボランティアのみなさん、お疲れ様でした。



【田畑さんと手話ボランティアの山中さん、大森さん、田中さん】

ボランティアさん募集情報

募集情報の掲載を希望される施設、団体の方は、ボランティアセンターまでお問い合わせください。
TEL 03-5662-7671 / FAX 03-3653-0740

地域密着型介護サービス 愛心(あいこ)

内 容 … 洗濯物干し、洗濯物たたみなど
日 時 … 月曜日～金曜日(週1～2回程度)
ボランティアの方の都合にあわせて
午後3時30分～4時30分
場 所 … 江戸川区大杉4-23-6
都営バス「大杉四丁目」下車 徒歩3分
京成バス「鹿本橋」下車 徒歩6分
交通費・食事 … 支給なし
電 話 … 03-5879-6035 担 当 … 有阪(ありさか)

社会福祉法人 三幸福社会 社の癒しハウスひらい

内 容 … 施設内のお掃除、シーツ交換など
日 時 … 活動日時等、お気軽にご相談ください。
場 所 … 江戸川区平井3-17-13
JR「平井駅」下車 徒歩5分
交通費・食事 … 支給なし
その他 … 動きやすい服装で、エプロン、上履き持参。
電 話 … 03-5627-3500 担 当 … 堀内

瑞江特別養護老人ホーム

内 容 … 洗濯物整理、シーツ交換など
日 時 … 随時(ご相談ください)
場 所 … 江戸川区瑞江1-3-12
都営新宿線 瑞江駅下車 徒歩10分
交通費・食事 … 支給なし
電 話 … 03-3679-3759 担 当 … 秋田・田島

だんらんの家 南葛西(デイサービス)

内 容 … 食事の支度・配膳など
日 時 … 曜日については、ご相談ください。
(午前10時30分～午後2時)週1回から可
場 所 … 江戸川区南葛西3-20-19
東西線「葛西駅」
JR京葉線「葛西臨海公園駅」下車
都バス「総合レクリエーション公園」下車
徒歩2分
交通費 … 実費支給(500円以内) 食 事 … 支給なし
電 話 … 03-6808-7906 担 当 … 佐藤

ハロウィーンに

国際交流ボランティアが活躍



10月31日のハロウィーンに、グリーンパレス内にある
共育プラザ中央で、インド文化を紹介する登録ボラン
ティア団体(HSSJAPAN)が中高生と交流を図りました。

インド出身で代表のムケシュさんは息子さんと参加し、
広いインドでは地域で気候や食事が異なることを紹介
しました。ムケシュさんは「これからも区内で積極的に文
化交流のボランティア活動を行いたい」と抱負を語ってく
れました。

デイサービス 縁(えにし)の湯

内 容 … お話し相手、お茶出し、娯楽(囲碁・将棋)など
日 時 … 二部制 午前9時～12時 午後2時～5時
月曜日～土曜日(日曜休み)
ボランティアさんの都合にあわせて
活動日時等、お気軽にご相談ください。
場 所 … 江戸川区篠崎町1-9-8 1階
都営新宿線「篠崎駅」下車 徒歩5分
交通費・食事 … 支給なし その他 … 動きやすい服装で
電 話 … 03-6821-8631 担 当 … 水上(みずかみ)

ありがとう

9月～10月

使用済み切手

受領：44件/23.7kg

ボランティアの振興に有効に使わせて頂きます。

ボランティア団体登録数

登録団体数：181団体 / 登録人数：4,680人
(令和3年10月現在)



● 第 6 回 ● えどがわボランティアセンターの平時の取り組み

江戸川区が大地震などで被災し災害ボランティアの支援が必要になったとき、江戸川区社会福祉協議会とえどがわボランティアセンターは、協力して災害ボランティアセンターを立ち上げ運営します。

当センターでは、災害時ボランティアの講座、災害時ボランティアの登録、及び災害ボランティアセンターの運営訓練などを行ってきました。

今後も、新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら実施していきます。詳細や実施状況については、当センターホームページをご覧くださいか、当センターまでお問合せください。

災害ボランティア講座

大きな災害が発生した時に円滑に災害ボランティアを受け入れるために、災害ボランティアの活動内容や、災害ボランティアセンターの運営について学びます。

災害ボランティアセンター運営訓練

毎年、社会福祉協議会とともに災害ボランティアセンターの運営訓練を実施しています。



【去年の運営訓練の様子】

災害ボランティアセンターの業務のうち、区内外から訪れるボランティアの受付、活動先(依頼先)とのマッチング、活動先への送り出しなどを、運営スタッフとボランティアに分かれ、実地訓練をしています。

災害ボランティア登録

災害ボランティアセンターが立ち上がった時に、センターの運営スタッフとして多くのボランティアの力が必要になります。災害時にスタッフとして活動していただく目的で、災害ボランティアの登録制度があります。

近隣区との連携

災害時に協力ができるよう、近隣区のボランティアセンターと定期的に情報交換を行っています。

ご存じですか?このマーク

ユニバーサルデザイン(略してUD) UDTAXIマーク

最近走行中のタクシーでみかけます。このUDTAXIは、高齢者、子ども連れ、車いすの方などだれもが利用しやすいタクシーである、と認定を受けたことを示しています。

星の数は、UDのレベルを表しています。

UDレベル1:車いす用スロープが備えられ、乗降口が低くなっています

(☆☆)

UDレベル2:レベル1よりスロープの角度が緩やかで、乗降口が

(☆☆☆) さらに低く、乗り降りしやすくなっています

一目でUDTAXIであることが分かるよう、マークを車の前面、後面、左側面に表示しています。タクシー利用の際の参考にしてください。



このタクシーは☆が2つなのでレベル2です。
ピンク色の、スロープ耐荷重300kg以上の新標準に対応しています。